

ひえ
御嵩町 比衣地区

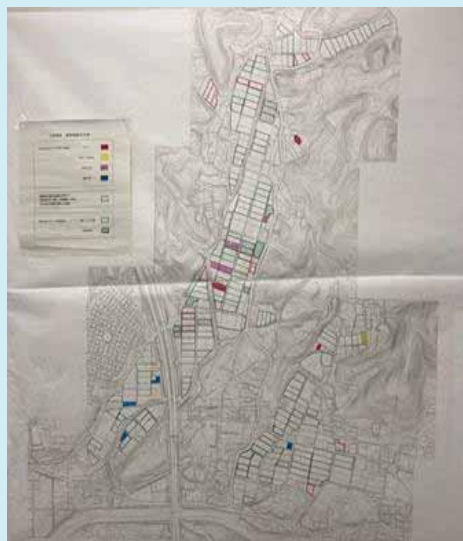
令和2年度

【地域の概要】

- 御嵩町は岐阜県中南部、木曾川の南岸に位置し、森林が約60%を占める。
- 農業者の高齢化と担い手不足のほか、水利不足や獣害等による耕作条件の悪化が農政の課題となっている。
- 伏見地区、美佐野地区、比衣地区の3地区に人・農地プランが設定されている。
- 比衣地区は本町西部にあたり、国道21号線の北側に位置する。
- 本地区は28.10haの農地で主に水田農業が行われている。

取組開始前の状況や課題

- 中心経営体2者が10.16haを耕作している。
- 高齢化と後継者不足により、個人の自作地における遊休農地の増加が懸念される。



貸付希望の農地を着色した地図

取組内容

- 令和2年7-8月:地区の耕作者63名にアンケートを送付し、34名の方から回答を得た。
(主な結果)・規模拡大意向は1名
・今後耕作継続54%、貸したい20%
・貸付時期は、すぐに43% 1年以内14%
- 令和2年11月:農業委員・推進委員・担い手・農事改良組合・自治会・JAなどが参加し、人・農地プラン実質化に向けた話し合いを実施。アンケート結果と貸付希望の農地を着色した地図をもとに方針案を決定した。
- 令和3年2月:実質化したプラン公表



プラン実質化に向けた話し合い(令和2年11月25日)

今後の展開と方向性

- アンケートで回答を得られなかった耕作者29名に追加調査を実施し、意向把握の精度を上げる。
- 中心経営体2者を中心とする将来の耕作エリアマップを作成し、農地の団地化・集約化を目指す。
- 農業委員会と町農政部局が連携し、既存の人・農地プランの充実と新たなプランの作成を模索する。